

## 校長室から

### 感謝の気持ち

本日は保護者会にご参加くださり、ありがとうございました。

早いもので、平成 30 年度も残すところあと一月ほどになってしまいました。保護者の皆様をはじめ、地域の方々には、たくさんのご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

笑顔の贈り物をくれた子どもたちに感謝  
ご協力くださった保護者の皆様に感謝  
学校を支えてくださった地域の方々に感謝  
共に子どもたちのために歩んでいる教職員に感謝  
大子の豊かな自然に感謝

…です。

子どもたちの教育は学校だけでは到底成り立ちません。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

※子どもたちの学習の様子などはホームページをご覧くださいできれば幸いです。

さて、「大子は暑くて寒いですよ！」と、昨年 4 月に赴任した私に、たくさんの方が声を掛けてくれました。夏は茨城県内で最高気温を記録し、冬は最低気温を記録するのだと…おかげさまで、かなり覚悟していたせいか、夏も何とか耐えられましたし、冬は、12 月はじめからスタッドレスタイヤをはいてスタンバイしていましたが、このまま春に突入しそうです。暑さ寒さよりも、色とりどりの花々や山々の四季折々の変化を満喫できました。本校のリングの木も今は、芽吹きの時をじっと待っています。今年もりんごの生長記録をホームページで紹介していきます。

### トピック

昨日（2月24日）「子どもの心とことばの育ち」という演題で、言語聴覚士の中川信子先生のお話を聞く機会がありました。その中からいくつか紹介します。参考になさってください。

・いろいろでいいの、子どもは球根…早く芽を出す球根もあれば、ゆ〜くり芽を出すものもあり、伸び方はいろいろ。花は咲くものと思いがちがあるかもしれないが、葉を楽しむものもある。そのときそのときを喜びながら付き添っていくことが大切。

・名前を呼ぶとき…〇〇っ！と呼ぶより笑顔と明るい声で〇〜〇〜〇くん！と歌うように呼んだ方がリラックスしてその後の話を聞いてくれる。

## 新学習指導要領、キーワードは「主体的・対話的で深い学び」

本校で考える

### 主体的な学び

学ぶことに興味や関心をもって、自分から気付いたり、考えたりして自分から動き（試行錯誤）しながら学ぶ姿。その子にとって“自分から動く”とは？を追求。

### 対話的な学び

相手の話を聞いたり、相手の思いを受け取ったり感じたりするだけでなく、自分の思いや考え、感じたことを相手に伝えたりと、双方向のやりとりをしながら学ぶ姿。一人一人みんなと違うことや同じこと（考えや感じ方など）を体験的に学ぶ姿。尋ね合う、確かめ合う関係づくり。

### 深い学び

学んだことや体験したことについて、「なぜ？」「どうして？」を大切に、一緒に考えたり、探求したりする姿。体験から始める学習スタイルへの転換。

例えば…

### これまでの買い物学習

・金銭の学習（計算や扱い方など）がある程度できるようになってから→実際の買い物→振り返って反省→金銭の学習

### これからの買い物学習

・まず買い物に行ってみる→いろいろな体験（財布を忘れちゃった！とか予算オーバーで買えなかった！逆に買ったものが買えた！など）→体験を振り返る→一人一人の課題をお互いに知る→一人一人の課題について学習（個別 or グループ or 全体）→現金を持たなくても買えることを教師が実演→プリペイドカードという仕組みを知る→その他にも買い物について調べ学習をする→買い物の仕方はいろいろあることを知る→買い物についてプレゼンテーションする→自分なりの買い物の仕方を選ぶ→教師の手助けを減らして買い物に行ってみる。→調理実習で必要なものを買ってくる。などなど…買い物学習という一つの単元が子どもたちの興味関心を引き出すことにより、次々と学びが広がり、深まり、興味がわき、自分から学びに向かう…そんな学習を目指します。

## Let's Try & Error Let's Active Learning

そのためには、社会に開かれた教育課程（社会の中で子どもは育つ）が必要。これからは、体験重視。子どもたちの学習の深まりによっては、計画が変更になる場合もあるかもしれません。あえて混乱する状況を作り出すことも…。ますます、ご理解とご協力をお願いいたします！



